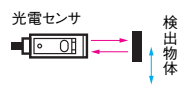
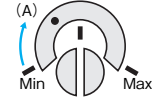
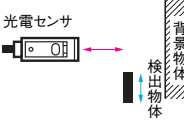
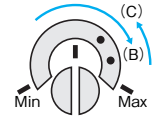
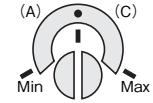


形E3S-C

感度調整(拡散反射形、入光時ONの場合)について

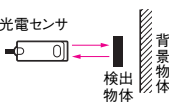
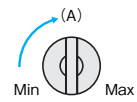

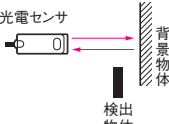
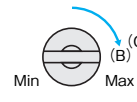

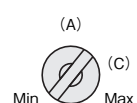

順序	検出状態	感度調整ポリウム	表示灯の状態	調整手順	
①目盛A			点灯→消灯 安定表示灯 (緑)	消灯→点灯 入光表示灯 (赤)	検出物体を所定の位置に置き感度ポリウムを右に回し(感度を上げる)入光表示灯(赤)が点灯するポリウム位置を(A)とします。
②目盛B			点灯→消灯 安定表示灯 (緑)	点灯→消灯 入光表示灯 (赤)	検出物体を取り除き、感度ポリウムをさらに右に回し、背景物体で入光表示灯(赤)が点灯するポリウム位置を(B)とします。(B)より感度ポリウムを左に回し(感度を下げる)入光表示灯(赤)が消灯するポリウム位置を(C)とします。背景物体のない場合は最大のポリウム位置を(Max)(C)とします。
③設定	—		点灯 安定表示灯 (緑)	点灯↔消灯 入光表示灯 (赤)	ポリウム位置(A)と(C)の中間位置に設定します(最適感度設定)。また、検出物体の有無のそれぞれの状態で安定表示灯(緑)が点灯することを確認ください。点灯しないときは余裕が少ないので検出方法を再検討ください。

従来品と異なり、感度の商品間バラツキが少ないため、同一条件下で検出する形E3S-CD 拡散反射形は上記の調整を1台のみ行い、他の形E3S-CD 拡散反射形はインジケータの目盛を上記の調整した1台に合わせるだけでOKです。

(各々現物で感度合わせする必要はありません。)

形E3S-CL

感度調整(距離設定形、入光時ONの場合)について

順序	検出状態	距離設定ポリウムの状態	設定距離インジケータの状態	表示灯の状態	操作手順	
(1)目盛(A)				点灯→消灯 安定表示灯 (緑)	消灯→点灯 入光表示灯 (橙)	検出物体を所定の位置に置きポリウムを右に回し、入光表示灯(橙)が点灯するポリウム位置を(A)とします。
(2)目盛(B)(C)				点灯→消灯 安定表示灯 (緑)	点灯→消灯 入光表示灯 (橙)	(1)背景物体がある場合 検出物体を取り除き、ポリウムをさらに右に回し、入光表示灯(橙)が点灯するポリウム位置を(B)とします。(B)よりポリウムを左に回し、入光表示灯(橙)が消灯するポリウム位置を(C)とします。 (2)背景物体がない場合 最大のポリウム位置(Max)を(C)とします。
(3)設定	—			点灯 安定表示灯 (緑)	点灯↔消灯 入光表示灯 (橙)	ポリウム位置(A)と(C)の中間位置に設定します。また、検出物体の有無のそれぞれの状態で安定表示灯(緑)が点灯することを確認ください。点灯しないときは余裕が少ないので検出方法を再検討ください。